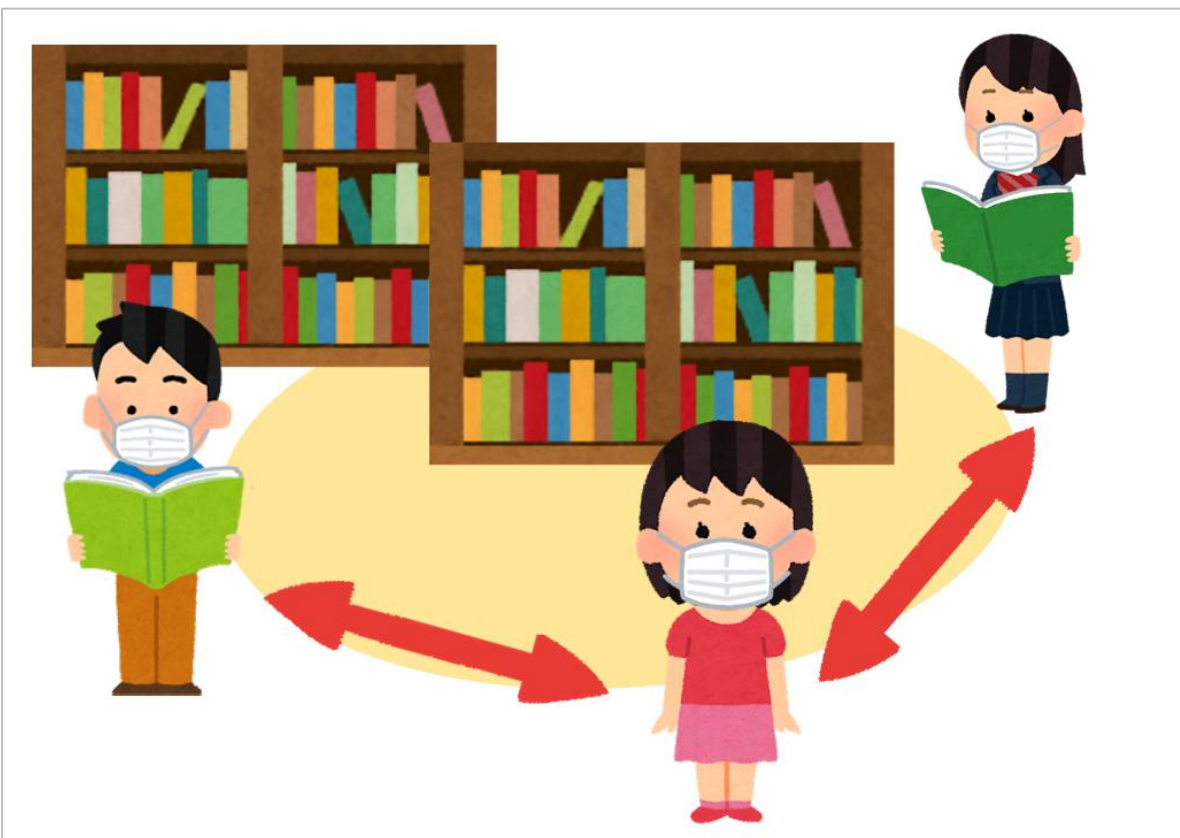


①



## コロナで変化した親切

新型コロナウイルス感染症が流行してから、自分がつつたり、身のまわりの人にうつしたりしないためには、知らない人はもちろん、お友達にも近づきすぎないことがだいじ、と言われるようになりました。

私はこのことを気にしすぎて、いままで当たり前のようにしてきたことを、やってもいいのか迷うことが多くなりました。また親切のつもりでしたことが、相手には迷惑だったかもしれないと思うできごともありました。

②



図書館に行ったときの事です。

本を読んでいる私の横を、ベビーカーにのった赤ちゃんが、そのお母さんが通りました。

その時、赤ちゃんがおもちゃを落としてしまったのを見かけました。

お母さんは気づかずベビーカーを押して行ってしまう。

③



私はおもちゃを拾って、ベビーカーを追いかけて、  
「これ、落しましたよ」と、お母さんに渡そうと  
しました。

すると、お母さんは、とても驚いた顔をしたので  
す。

そして、おもちゃをさっと受け取ると、立ち去っ  
てしまいました。



私は親切のつもりでおもちゃを拾ったけれど、  
あのお母さんは、赤ちゃんがさわるものだから、  
ほかの人にはさわってほしくなかったのかわし  
れません。

それどころか、あまり近づかないでほしいと  
思ったのかもしれない。

私は、おもちゃにさわらずに、教えるだけにす  
ればよかったのかな。



新型コロナウイルスが広がって、これまでのような親切はむずかしくなったのかもしれませんが。

でも、あいさつをしてみんなを明るくしたり、校内のごみを拾ったりすることは、一人でも、私にも、できることです。いつも手洗い、うがい、マスクを忘れないことも、周りの人への思いやりではないでしょうか。

大変なときだからこそ、いま私にできることを考えていきたいと思います。